

抗菌薬

参加形式: 必須

指標名: 予防的抗菌薬 b. 術後 24 時間以内の予防的抗菌薬投与停止率

定義の要約:

分子) 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数

分母) 入院手術件数(股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術)

指標の定義・算出方法:

1. 解析期間の DPC データのうち、F ファイルを対象とする。
2. 「15a_術式・病名リスト_20170430 版」の術式コード表 5.03、5.04、5.05、5.06、5.07、5.08 に該当する手術を分母とする。
3. 手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数を分子とする。
(ア) 手術翌日は手術日+1 の日付とする。(例:手術日が 4 月 2 日の場合 4 月 3 日を検索)
(イ) 予防的抗菌薬は「15a_予防的抗菌薬リスト_20170331 版」に該当するものとする。

式	単位
$(\text{分子} \div \text{分母}) \times 100$	% (パーセント)

その他:

意義:

手術部位感染(SSI)を予防する対策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があるが、不必要に長期間投与することで、抗菌薬による副作用の出現や耐性菌の発生、医療費の増大につながる。

留意点:

術後翌日以内の死亡症例は抗菌薬停止症例に含まれる。

術式、抗菌薬の同定は診療報酬コードの追加改訂に対応が必要となる。

治療的抗菌薬を予防的抗菌薬として頻用する場合、分子が不正になることが考えられる。この場合、抗菌薬の種類を限定せず計測することも考えられる。

感染症治療を併存しての手術の場合、分子に含まれなくなる。このため感染症を併発している可能性が通常は低いと思われる分母の選択を行っている。

参考資料:

術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン